

昭和学報

昭和女子大学

〒154-8533 東京都世田谷区太子堂
03(3411)5118
編集発行人 鈴木 円

海と山のあいだに

副学長 吉田 昌志

人間のもつ五感(視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚)の中で最も喚起力の強いものは何だろうか。諸説があり、また人のおのによって違うだろうけれども、私の場合は「嗅覚」において「海」である。

夫(一八八七—一九五三)の第一歌集の題名である。「釈道空」の別号をもつ折口は、歌人にして国文学・民俗学の研究が主だった。学問が出来て、歌も作ることで、歌人を世に「学匠詩人」と称するが、折口はその典型といつてよい。

この歌集は、明治三十七年頃から大正一四年までに発表された六九一首を、近い年から逆年順に編成したもので、当時の作者は数え三九歳。大阪天王寺中学卒業の年(明治三十八年)、すでに五〇〇以上の作歌を持っていた折口にしては大変遅い歌集の公刊だったが、中で最もよく知られているのは、

葛の花 踏みしだかれ
て 色あたらし。この
山道を 行きし人あり

の一首であろう。一字空きや句点は折口のオリジナルだが、当時の御歌所(宮中の和歌を司る役所)の歌人武島羽衣が、幼稚な歌だと批判し

- ### 今月の昭和学報は
- Asian Women's Leadership Program
日中韓プログラムに参加して……………(2)
 - クラブサークル活動報告……………(3)
 - 日文ノルド絵莉華ナターシャさん
第三六回昭和池田賞で優秀賞……………(4)

平成二八年度就職率 七年連続女子大学でトップ

平成二八年度(平成二九年三月卒と同年九月卒の合計)の本学の学部就職率(卒業生から大学院進学者を引き、それに占める就職者の割合)は95.5%で、昨年の94.3%を1.2ポイント上回り、卒業生が1000人以上の女子大では七年連続でトップとなった。また、共学校を含めた全国順位では八位で、昨年の一二位から四ランク上がり、一昨年の九位を上回った。理工系や福祉系を除く文系中心の大学ではトップの実績を維持した。

この調査は例年、大学通信が実施し、七月下旬発行の『サンデー毎日』に掲載される。本学は卒業生1402人に対し、就職者が1315人、大学院進学者が25人で、この結果、就職率は平成二三年度の86.7%、同二四年度の90.2%、同二五年度の91.2%、同二六年度の93.9%、同二七年度の94.3%に続き、着実に数字を積み上げて女子大トップの記録を伸ばした。

企業が採用意欲を強める「売り手市場」で各大学が就職率を増加させる中、本学が七年連続トップを達成できたのは、卒業生自身の頑張りに加え、就職先での先輩OGたちの評判が良いこと。また、全学一丸となって就職支援に取り組んだことによる。各学科のキャリア支援部委員とキャリア支援センター職員が連携し、四年生の夏休み前から、内定、内々定が出ない学生一人ひとりと連絡を取り、個別面談などを通して求人紹介や、履歴書・エントリーシートへの添削、模擬面接などを実施し、成果を上げた。

(キャリア支援部長・磯野彰彦 同センター長 磯野彰彦)

海と山のあいだに 海は山の樹々の匂いに満たされるのである。

海は山の樹々の匂いに満たされるのである。海は山の樹々の匂いに満たされるのである。



改造社版
『海やまのあひだ』
大正 14・5
本学図書館近代文庫蔵



て、これを「心なく山道を行きし人あらむふみしだかれぬ白き葛花」と添削したことによって、一層有名になった。

というのは、この添削が「あたらし」を「新らし」ではなく「愛惜し」と誤解して「心なく」と変えたこと、また紅紫の葛の花の色を「白き花」とした無知によって、失笑を買ったためである。

それがともかく、この歌が歌集中の代表作となったのは、地面に踏みしだかれた葛の花の鮮やかな紫を発見して、山の中に深く分け入った自分の前を行く、誰か知らない者の存在に思い至り、心のつながりを見出した作者の心の動き(感動)であり、その心情とは孤独に徹した旅人のものであったからにほかならない。「行きし人」は、見知らぬ誰かであるとともに、同じ孤独を抱く作者の分身でもある。

この歌の典拠に、芭蕉の「此道や行人もなしに秋の暮」(「笈日記」一六九五)を指摘する説もあるが、行く人(旅人)の「あり」「なし」にかかわらず、「道」は人生の道程を象徴し、孤独な



日本航空株式会社との 包括的連携に関する基本協定締結

六月三〇日、本学と日本航空株式会社は、包括的な連携に関する基本協定を締結した。

これまでも同社とは、ビジネスデザイン学科給善品子ゼミでの活動をはじめ、昭和ボストンでの地域交流活動や、学生の就職先としても昨年は六名の学生が社会人としての一歩を踏み出すなどのつながりがあった。協定締結により、絆を一層深めることが期待される。

坂東眞理子理事長・総長は、「平成二四年に同社がボストン直行便を就航して以来、様々な面でお世話になってきた。グローバル人材育成推進や女性の社会的活躍という点からも、本協定が締結されたことは非常に嬉しい。様々な機会に学生とともに社会に資する活動をしていきたい」と挨拶。大川順子代表取締役専務執行役員からは、「全社をあげてグローバル人材育成教育を支援したい。ボストンをはじめ、地域とともに素晴らしいことが成し遂げられればと思う。末永くお付き合いを」とのお話があり、和やかなうちに調印式は終了した。

Asian Women's Leadership Program

日中韓プログラムに参加して

本学と、韓国の誠信女子大学、中国の上海外国語大学から選出された女子学生各一〇名が三週間「日中韓プログラム」に参加した。今年第一回となる同プログラムは、八月四日から二四日までの期間、三カ国で一週間ずつ過ご



しながら、東アジアの国際関係や女性のリーダーシップ

プについて学び、互いの国への理解を深める内容となっている。各大学で特別授業が行われたほか、フィールドトリップや、グループディスカッション、各大学のプログラム修了時にはプレゼンテーションも行った。参加学生は生活を共にし学ぶことで、それぞれのお

国柄にも触れることができ、より理解を深めることができた。私は国際学科の上海交通

大学ダブル・ディグリープログラムの留学で培った中国と韓国についての知識や語学力を活かすため参加した。プログラムで行われる授業は全て英語で、英語の堪能な友人に助けられることも多かったが、私の韓国語や中国語が交流を助けることもあり、嬉しかった。たとえば、儒教に関する講義は難解な部分があり、私が上海交通大学で学んだ知識をみんなと共有して儒教についての理解を深めた。

各国の文化を体験する時間には、韓国では韓服を着ての茶道体験とビビンバ作り、中国では伝統茶のほか伝統楽器の演奏を、日本では浴衣姿で落語を楽しんだ。茶道をはじめ、似ていながらも少しずつ違う文化に、各国の独自に発展させてきた歴史を肌で感じた。

三週を終えて、学生それぞれの成長を嬉しく思う。参加した三カ国の言葉を話せたことで、日中韓それぞれの未来を変えたいという意識も芽生えた。多くの国の人々に影響を与えられる人になりたいとの決意も新たになった。

これを機に、東アジアに関心を持つ学生が増えれば良いと思う。
(国際 長内麻蒼)

先生の研究室訪問

積極的に経験しよう

健康デザイン学科専任講師 不破眞佐子 先生

今回は、健康デザイン学科の不破眞佐子先生をお訪ねした。



「人は食べたものによつて作られており、健康をサポートする仕事として栄養士を目指す」と不破先生。先生は、本学附属中高部のご出身で、高校三年生の時には、五修生として短期大学部食物科学科(当時)で学びはじめ、生活科学科へ編入、その後、大学院に進学された。大学院博士課程では、食物繊維が血糖値上昇の抑制に及ぼす影響をテーマに研究され、食物繊維の種類による血糖値上昇の抑制について研究された。食物繊維に

は、血糖値上昇を緩やかにする働きがある。急激な血糖値の上昇を避けなければならぬ糖尿病患者の方に応用するための研究でもある。現在は、災害時に身の回りにあるものを活用して十分な食事をとるための研究もなされている。不破先生の様々な研究の根底には、「いつまでも口から美味しく食べる」という変わらないテーマがある。

糖尿病は、生活習慣病の一つであるが、その予防については、一旦定着してしまっただけで生活習慣の改善は難しいため、子供の頃から良い生活習慣を身につけることが大事である。そのため、不破先生は、教育についてもとても大切に考えられており、先生ご自身も学生時代に行った病院での給食のアルバイトから、多くのことを学ばれたそう。そして、本学の魅力でもあるグローバルな環境を活用したり、メンター制度や様々なプロジェクト活動に参加するなど、授業以外の学びについても主体的に参加してほしいと続けられた。

大学の四年間でしか経験することができないことに積極的に取り組むことで、新しい発見ができる。不破先生。私達も、学生時代を大切にしたい。様々な挑戦を楽しみたい。
(学報委員 片桐穂乃花、佐久間美季)

平成二九年度 学寮報告

オリジナルサビ・チキンマスター(中央とニッコリ)



◆健康 5/30〜6/2

健康デザイン学科二年生は東明学林にて学寮研修を行った。初日に日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)(以下KFCJ)の本社見学、二日目は新江ノ島水族館見学と、その周辺で女子大生に向けた健康向上プログラムを考案し、グループごとに体験した。三日目は労作として植樹や野菜の収穫後、前記プログラムのプレゼンテーションを行った。

◆福祉 6/27〜30

私たち福祉社会学科は六月二七日から三〇日まで館山にある望秀海浜学寮にて四日間の学寮研修を行った。今回の学寮研修のプログラムでは、二日目にゼミごとに様々な分野のフィールドワーク先を訪ね、三日目に三年生を中心にその学びを共有するための報告会を行った。写真は私が伺ったデイサービスの施設で、利用者の方々との七月のカレンダーを作成する様子である。短冊に願い事を書き、織姫や彦星、星などの折り紙と一緒にカレンダーに貼り、飾り付けをした。職員の方が利用者の方とどのようにコミュニケーションをとっている

のかを知ることができ、大変勉強になった。職員の方は、利用者の方に声をかける際、そのトーンや態度に注意を払い、利用者の方が快適に過ごすことができるようされていた。その対応は、利用者の方の特徴や特性をきちんと把握した上で、一人ひとりに寄り添った支援となっていた。そして職員の方からの支援や働きかけだけではなく、利用者同士の間接性を築くための関わり方をするのも重要だと感じた。また、地域との連携や地域におけるデイサービスの役割など、多くのことを学ぶことができた。

報告会では、各ゼミがどのような活動をし、何を学んだのか、詳しく知ることができ、有意義な時間となった。さらに全員参加でキャンプファイヤーやレクリエーションも行われて、学年を越えて絆を深めることができた。
(学報委員 赤澤美香、津志田千愛)



日文 ノルド絵莉華ナターシャさん 第三六回 昭和池田賞で優秀賞

広く学生からの論文を募集した第三六回昭和池田賞の優秀賞と特別奨励賞が選出され、応募総数四二編の中から私は優秀賞を頂くことができた。同賞は、七つのテーマから一つを選択し、原稿用



公益財団法人 昭和池田記念財団 理事長 池田彰孝氏とノルドさん

紙三〇枚以内で論文を執筆するもの。私は「日本の伝統文化を考える」というテーマで、「日本の伝統芸能及び伝統文化の保持に対する提言」と題し、伝統的な芸能や工芸における労働問題や継承者問題に着目し、新しいターゲットや販売展開の提言を行った。

七月一三日には受賞者が昭和池田記念会館に集まり、表彰式が行われた。式典では、講評や祝辞を頂き、挨拶を行った後、優秀賞と副賞二〇万円、奨学金目録を頂いた。

(日文 ノルド 絵莉華ナターシャ)

職員に聴く！ 創立者記念講堂

創立者記念講堂は、昭和五五年、創立六〇周年を記念し建設された。学報委員会では、日ごろは見ることでできない講堂のバックステージを武藤空男講堂部長にご案内頂いた。見学当日は、外部

のオーケストラのハーサルが行われていた。

まず驚いたのは、この大きな講堂を六名のスタッフが管理していることだ。スタッフは、音響照明、舞台、施設等に分類、専門知識を駆使し、講堂運営に貢献している。まさに縁の下の力持ちと



貴賓室



コントロールルーム



反響板

の部屋で行われている。

講堂は、地下二階地上五階建てで、収容人数は一階一四七六六、二階五三二人である。私達が文化講座で使用する階のほかに、貴賓室や照明・音響をコントロールする部屋が並ぶ階がある。舞台正面の貴賓室は、ゆったりとした空間に椅子が置かれていた。

隣接する二部屋は、たくさんのスイッチ類が並ぶコントロールルームとなっている。創立記念式の「オーロラの躍動」の照明操作もこ

文部科学省 官民協働海外留学支援制度 「トビタテ」留学JAPAN日本代表プログラム第七期生に ビジネス 小澤千耀さんが採用

この留学では、日本がアジア諸国と友好で有益な関係を結び、双方が利益を得られる社会の実現に向けフィリピンで三ヵ月間様々な挑戦をする。



チヨコレット社社マネージングディレクターと小澤千耀さん

具体的には、企業の現場からシステムや相互関係の定着について考察し、NGO職員との共同生活を通じ、多様な問題や教

「トビタテ」の合宿で専門性の異なる学生と語り合えたことは、今後の自己成長に繋がるだろう。このような仲間に出会えるのもこの留学の魅力の一つだ。将来、海外の大学院で学ぶ目標もあり、社会人としてのステップを踏み出す前の最後の留学で成果をあげたい。

(ビジネス 小澤千耀)

美術館・博物館に出かけよう！ 「伊勢半本店 紅ミュージアム」

七月九日、学報委員は表参道の「伊勢半本店 紅ミュージアム」を訪ね、本学の卒業生でアテンドメント兼広報の阿部恵美子さんにお話を伺った。



館内には、製法からお江戸の化粧ポーチまで、魅力的な展示が詰まっています。 (右が阿部さん)



小町紅体験では、発色の違いを実感

業当時と変わらぬ秘伝の伝統製法を守り続けている。ミュージアムは、紅の文化と技を伝えると共に、今に通じる紅の魅力を知ってほしいとの思いから設立され、最近SNSがきっかけで若者の来館者も増えているそうだ。展示室には、紅にま

る憧れのピアノだ。

講堂の一般利用者は、年間二〇万人以上にもなるが、講堂貸し出しの最大の目的は、本学をより多くの人に知ってもらうことにある。そのため、条件を満たす団体にのみ貸し出しを行っている。三年後の創立百周年に向け、改装工事も計画されており、利用者や学生により充実した環境が提供されるようになる。開設

最後に見せて頂いたピアノ室には、スタインウェイ及びベーゼンドルファーのフルコンサートグランド三台の素晴らしいピアノが置かれていた。一度は耳にしたことがあ

行事予定

- 10月 2日(月) 後期授業開始、大学院修士論文題目提出 (~6日) 図書館「ツアー(~6日)、情報検索ガイダンス(~11/30)、ゼミガイダンス(~12/22)
- 10月 4日(水) 第3回学友会クラス学生総会(15:30) 図書館「長期貸出最終返却日、第3回図書館貴重資料展「女性文庫(西洋の女性史)(~11/29)」
- 10月 5日(木) 先哲の慰霊祭(10:40)
- 10月 8日(日) 大学A0入学試験一次選考、編・転・学士入学試験
- 10月 9日(月) 編・転・学士入学試験(健康のみ)
- 10月10日(火) 月曜代替日
- 10月11日(水) 合同避難訓練(11:45)雨天時は18日へ延期 第2回就職ガイダンス(15:30)
- 10月15日(日) 大学A0入学試験二次選考
- 10月18日(水) 【女教】日比谷武氏「これからの企業経営と求める人材」(15:30)
- 10月20日(金) 学内合同企業説明会(12:30)
- 10月21日(土) 第3回全学対象TOEIC IPテスト(3・4限)
- 10月23日(月) 第85回メンターフェア(12:00)
- 10月25日(水) 【博士後期課程3月修了見込み者】課程博士学位論文提出期間(~31日16:00)
- 10月26日(木) 【文研】歌舞伎鑑賞会(18:15)
- 10月28日(土) 第5回オープンキャンパス(13:00) 第52回メンターカフェ「気になる観光業について聞こう」(13:30)
- 10月30日(月) 【文研】ブラック・ダイク・バンド(18:15)
- 10月31日(火) 大学院早期修了申請提出締切 【文研】コルネリア・ヘルマン&NHK交響楽団メンバーによる名曲(18:15)

ひとつ手作りをしている。サロンでは、この小町紅を体験できる。油分がないためさらっとした感触で、一瞬で顔色が明るくなった。紅は人により発色が変わり、不思議なことにもその人に似合う色に発色するそうだ。玉虫色が紅色に変化する瞬間は神秘的で、時代を越えて女性たちが憧れた理由がわかるように思った。特別感のある小町紅は今も魅力的で、それだけに紅の文化を後世に伝える必要性を痛感した。秋には企画展も開催される。皆様も是非足を運び、芸術の秋を楽しんでみてはいかがだろうか。(学報委員 小泉奈央・室永夏奈・白井杏奈・峯尾陽香)